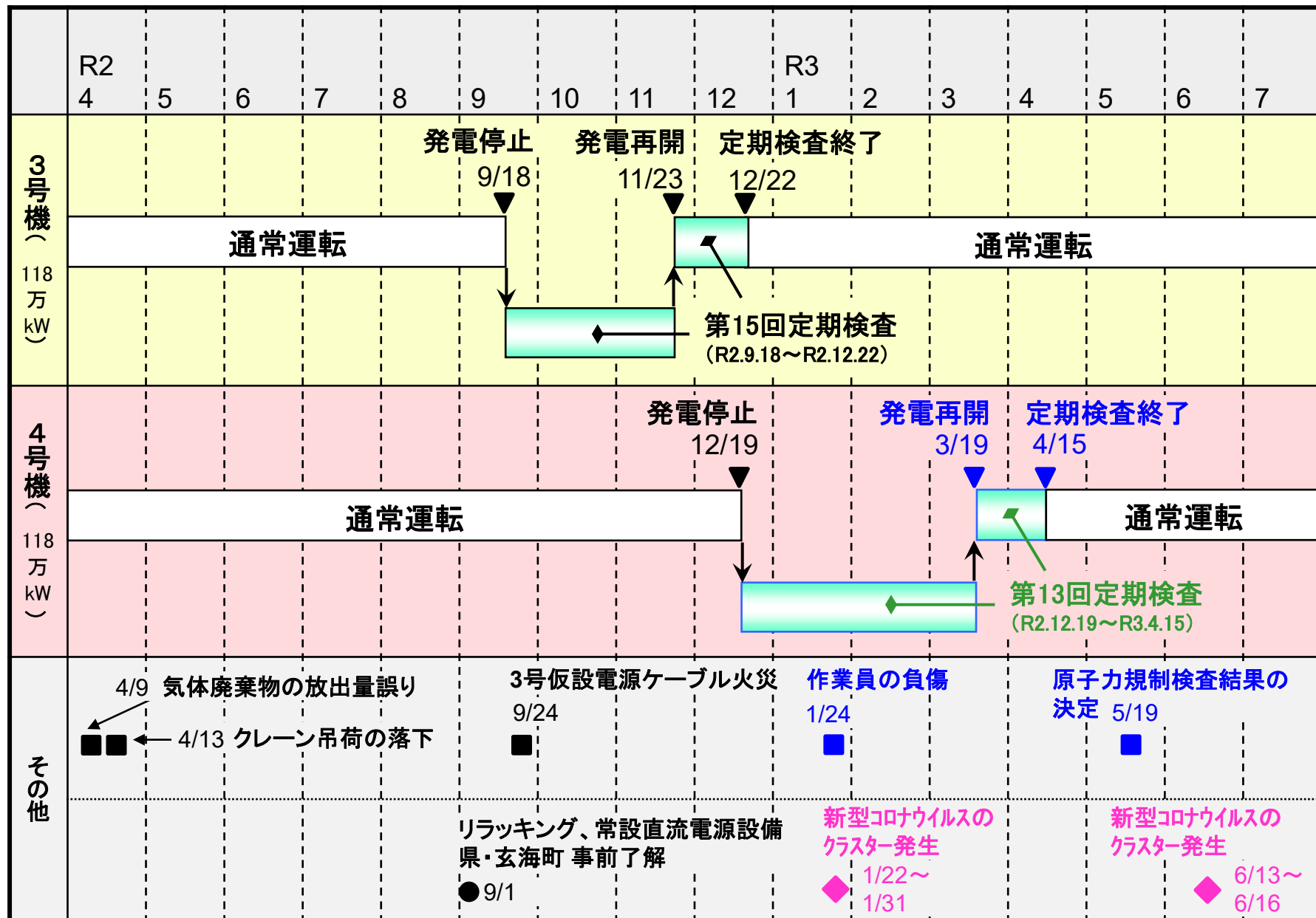


玄海原子力発電所の運転状況等について (令和2年4月～令和3年3月)

令和3年8月4日
原子力安全対策課

(1) 経過(令和2年4月～令和3年7月)



(2) 3、4号機の発電状況(令和2年4月～令和3年3月)

	3号機	4号機	合計
電気出力 (MW)	1,180	1,180	2,360
発電電力量 (億kWh)	85.4	77.8	163.3
利用率※ (%)	82.6	75.3	79.0

$$\text{※ 利用率} = \frac{\text{(発電電力量)}}{\text{(暦時間)} \times \text{(設備容量)}} \times 100(\%)$$

(3) 1、2号機の廃止措置の実施状況

① 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況



(3) 1、2号機の廃止措置の実施状況

② 解体撤去物の発生状況(令和3年3月末時点)

【1号機】

種 類	発生量(トン)		処分量(トン)		期末保管量 (トン)
	令和2年度	累計(※)	令和2年度	累計(※)	
金属類	0	627.8	0	627.8	0
コンクリート類	0	4.3	0	4.3	0
その他	1.6	19.3	1.6	19.3	0

※廃止措置開始(H29.7)以降の発生量

【2号機】

種 類	発生量(トン)		処分量(トン)		期末保管量 (トン)
	令和2年度	累計(※)	令和2年度	累計(※)	
金属類	227.8	227.8	227.8	227.8	0
コンクリート類	4.4	4.4	4.4	4.4	0
その他	12.1	12.1	12.1	12.1	0

※廃止措置開始(R2.6)以降の発生量

(4) 燃料輸送等の状況(令和2年4月～令和3年3月)

① 新燃料(取替用燃料)の搬入

該当なし

② 使用済燃料の搬出

該当なし

③ 低レベル放射性廃棄物の搬出

搬出年月日	搬出量(本) (200リットルドラム缶相当)	輸送手段	搬出先
令和3年2月12日	1,720	船舶輸送	日本原燃(株)

(5) 放射性廃棄物の管理状況(令和2年4月～令和3年3月)

① 気体・液体廃棄物の放出量

種 類	放出量 (ベクレル)	放出管理目標値 (ベクレル/年)
気体廃棄物	3.4×10^8	1.0×10^{15}
液体廃棄物	定量限界未満(※)	7.5×10^{10}

(※) 定量限界未満: 測定の結果、放射性物質の量が検出できる下限値未満

② 固体廃棄物の保管量(令和3年3月末時点)

	貯蔵量(本) (200リットルドラム缶相当)	貯蔵設備容量(本) (200リットルドラム缶相当)
原子炉施設合計	38,148	約49,000

(6) 事故・故障等の発生状況

① 安全協定第6条に該当する事故・故障

玄海原子力発電所3号機における火災の発生について

➡ 令和2年9月24日発生(前回の協議会で報告済み)

② 保全品質情報 ⌈ 法令及び安全協定上報告の必要は無いが、電力会社や産学官で共有 することが有益な原子力発電所の保守・運営情報 ⌋

「玄海原子力発電所3、4号機 海水管トレンチエリアのプルボックス
内に設けられた煙感知器の設置方法の不備」

➡ 令和3年5月19日原子力規制委員会決定(詳細は資料4で説明)

③ その他の情報 { ①、②に該当しない事象ではあるが、発生について九州電力が公表したもの(発煙等) }

玄海原子力発電所における気体廃棄物の放出量の誤りについて

➡ 令和2年4月9日公表(前々回の協議会で報告済み)

玄海原子力発電所内におけるクレーン吊荷の落下について

➡ 令和2年4月13日発生(前々回の協議会で報告済み)

玄海原子力発電所における作業員の負傷について

➡ 令和3年1月24日発生(詳細は資料5-3で説明)